

## 令和元年度第2回経営会議概要

- 1 開催日時：令和元年5月28日（火）9:05～9:20
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり  
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

### 議題1 「みえ県民カビジョン・第三次行動計画（仮称）」の策定について

#### ●中野課長【企画課】（資料1に基づき説明）

5月9日の前回の経営会議で示した考え方を踏まえ、策定方針をとりまとめた。

1では、みえ県民カビジョン以降の時代潮流と現状認識をとらえ直した上で、県民カビジョンの基本理念「県民力でめざす『幸福実感日本一』の三重」や「アクティブ・シチズン」、「協創」の意義は、今後も変わらないものと考えている。

これらを踏まえ、2の次期計画の位置づけにおいて、県民カビジョンの見直しは行なわず、第三次行動計画（仮称）を策定していくことや、次期行動計画を「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の次期戦略としても位置づけて、一体的に取り組んでいくことを示している。

3の策定の趣旨では、次期行動計画を中期の戦略計画として取り組んでいくこととしており、4のとおり、4年間の計画としている。5の策定体制については、庁内会議や、庁外の経営戦略会議や地方創生会議を活用するとともに、議会や各種団体の意見や若者向けアンケート調査等を実施し、県民の皆さんから広く意見をいただく。

6の取りまとめ方向としては、基本として現行動計画の残された課題や新たな課題に的確に対応し、各施策の成果を確実に県民の皆さんに届けられるように、分かりやすくかつ効率的な県政運営の拠りどころとなる計画としていきたい。また、基本的な考え方として、冒頭に現行動計画の総括を掲げたい。さらに、新しい概念であるSDGsやSociety 5.0も整理する。政策体系については、社会経済状況の変化などを検証した上で、必要な施策を新設・改変し、再構築を行っていく。数値目標は、現行動計画では、施策に1つの県民指標、基本事業に1つ以上の県の活動指標を設定しているが、施策にこれまでの県民指標に相当する主指標（仮称）を1つ、主指標を補足するのにふさわしく、県の取組の効果がわかる代表的な指標として副指標（仮称）を設定する。重点取組は、次期行動計画においても注力する取組を位置づけ、毎年度の県政推進の基本方針である経営方針に定めていく。

（質疑等なし）

### 議題2 令和元年度三重県経営方針（案）について

#### ●中野課長【企画課】（資料2-1、2-2に基づき説明）

三重県経営方針（案）については、4月1日時点で最終案の暫定版として公表しているが、その後、6月補正予算や知事政策集の取組などを反映して取りまとめ、6月

3日に議会への説明を行う。

暫定版からの主な変更点としては、まずは、「はじめに」の部分で改元について触れている。また、注力する取組については、5本の柱は変更していないが、それぞれの項目に6月補正予算の事業等、新たな取組を追加している。3つの政策展開の基本方向に沿った取組についても適宜、見直している。行政運営の部分については、行動計画やまち・ひと・しごと創生総合戦略の策定や、スマート自治体の取組、次期の行財政改革の取組について追記している。

(質疑等なし)

以上